

「臨場感が大事」 No.234



8/20 遊びながら自然について学ぶ  
巨木をめぐるウォークラリー

あんじゅ認定こども園の年長クラスが、青葉公園で《巨木をめぐるウォークラリー》を楽しみました。ウォークラリーは《ちとせ環境と緑の財団》が提供する自然体験活動プログラム。子どもたちは地図を見ながら「あそこに大きな木があるよ」と目を輝かせながら巨木を探しました。巨木を見つけた後は、樹木プレートの文字を読んだり、解答用紙にキーワードを書き写したり、遊びながら自然を学びました。



8/20 やさしい香りに包まれて  
手作りハーブブーケが完成



げんきっこセンターで、《やさしいハーブブーケ講座》が開催されました。参加者は講師を務めたポタジェ（家庭菜園）・アドバイザーである藤井純子さんからハーブの効用や育て方などについての説明を受けた後、ハーブブーケ作りに挑戦。さまざまなブーケが完成し、「綺麗にできた。家に帰ったら飾りたい」などの声があがっていました。会場はハーブのやさしく爽やかな香りで満たされ、参加者はリラックスできたようです。

8/5 農作物生育状況調査を実施  
「平年より生育が良い」



毎年、この時期に実施している農作物生育状況調査。今年度は、山口市長をはじめ市議会議員など関係者約30人が、根志越、幌加、長都の畑で農作物の生育状況を視察し、生産者の皆さんと意見を交わしました。幌加地区で納豆の原料となる大豆《ユキシズカ》などを栽培する橋場正人さんは、「草丈、葉の数とも平年を上回っており生育は順調、例年どおり10月下旬に収穫ができそうです」と説明しました。豊稔の秋が期待されます。

8/12 公設地方卸売市場と支笏湖温泉旅館組合がコラボ  
千歳産野菜のPR



千歳市公設地方卸売市場が、市内で採れた新鮮野菜を支笏湖温泉旅館組合に提供しました。例年9月に地元食材PRのために開催していた感謝祭を新型コロナウイルスの影響から見合わせる事となり、代わりに企画されました。市場拡大戦略会議の佐藤章一委員長（右から2人目）からブロッコリーとスイートコーンを受け取った支笏湖温泉旅館組合の佐々木義朗組合長（同3人目）は「千歳産の野菜が美味しいことをPRしたい」と感謝を伝えました。

キノコ狩りの季節 猛毒キノコに要注意  
青葉公園に《カエントケ》



青葉公園で猛毒キノコ《カエントケ》の自生が確認されています。《カエントケ》の毒性は非常に強く、誤って食べてしまうと死に至る可能性があり、大変危険です。また、触れるだけで皮膚の炎症を起こしますので、発見しても絶対に触れないでください。キノコ狩りの季節ですが、《カエントケ》以外にも毒キノコはたくさんあります。確実に鑑定されたキノコ以外は採らないようにしましょう。

人のうごき

《総人口》  
98,181人 (+186)  
男性 49,864人 (+113)  
女性 48,317人 (+73)  
《世帯》51,043世帯 (+80)

( )内は、前月との比較です。

9・1 現在

8/28 《利用しない》《恐れない》《金を出さない》そして《交際しない》  
暴力団排除出動式・啓発パレードを実施

千歳市夏季特別暴力団排除パレードが、グリーンベルトおまつり広場から清水町飲食店街にかけて行われました。《千歳警察署》、《千歳市暴力追放運動推進協議会》、《千歳市安全で住みよいまちづくり推進協議会》らが中心となり関係者約50人が参加。出動式では、田辺康弘千歳警察署長が、「市民の皆さんと緊密に連携し、暴力団の追放・排除を徹底していきたい」と力強く宣言した後、参加者は啓発品を配りながら繁華街を練り歩きました。



広報ちとせのおわびと訂正

広報ちとせ8月号の12ページに掲載した「わくわくランド」の記事で、電話番号を誤って記載していました。正しくは、《☎(40)1717》です。おわびして訂正します。